



もとみや

# 議会だより

第 79 号

令和 6 年 5 月 1 日発行

1 月臨時会  
3 月定例会

## 新たな一歩で入学式!!



市議会のHPからもご覧いただけます!

### 目次

- 議案 TOPIC ..... P2、3
- 予算審査質疑 PICKUP ..... P4、5
- 一般会計補正予算..... P6
- 常任委員会審査..... P7
- 討論..... P8
- 議決結果一覧..... P9
- 議決結果、行政視察報告..... P10
- 行政視察報告..... P11
- 一般質問..... P12 ~ 19
- 一般質問、新たに任命された委員等..... P19
- 市民との意見交換会..... P20

令和6年度予算 **可決**一般会計  
予算額歳入  
歳出 **159億9,430万円**

昨年度より15億2,230万円の増！

3月定例会では予算審査特別委員会が設置され、令和6年度の予算が審議されました。一般会計予算では、昨年度から15億2,230万円の増額となりましたが、主な要因として人事院勧告に基づく会計年度任用職員の勤勉手当支給に伴う人件費の増加や、施設改修等の事業費の増加、物価や人件費の上昇による委託料や光熱水費などの増加が説明されました。また、今後も経常経費の上昇と財政の硬直化が懸念されることから、全庁的な事業・予算の総点検を行うとされました。

## 予算審査質疑 PICK UP

## 総務費 財政

**A** RPAは、外国人転出関係、確定申告に向けた給与報告書、市営住宅の積算の3つの業務を計上している。DXは、コンサルではなく計画を作ってもらいたい。

**Q** RPAシナリオ構築業務、DX推進計画策定業務委託の内容は。

## 総務費 生活環境

**A** あらかじめ各集会所の次年度の改修予定を取りまとめ予算計上している。随時相談を受けながら、議会に説明し、補正予算等に対応していきたい。

**Q** 集会所整備費補助金は、行政区から要望があつての予算措置か。令和6年度中に要望があつた場合の対応は。

## 総務費 生活環境

**A** まちタクはメーター運賃に対して実質50%が市の負担という状況。チョイソコモとみや、コミュニティバスは運行にかかる総費用額から利用者負担分を差し引いた金額を市の負担としている。福島交通の路線バスはキロ単価を基に積算している。

**Q** 公共交通に関する予算の積算根拠は。



令和6年度予算の詳細な内容は「広報もとみや4月号」P.3～をご覧ください。



## ? Question

## 会計年度任用職員とは？

2020年4月の地方公務員法の改正により導入された非常勤の地方公務員のことです。従来の臨時職員や嘱託職員に代わり設置されました。

任期は最長1年（4月1日～翌3月31日）で、再任用が可能であることや、昇給・期末手当の支給が可能になるなど、待遇改善が行われています。

一方で、今まで正職員のみであった義務等が課されることとなり、より高い職業意識を持つことが期待されます。

## 予算審査質疑 PICK UP

### 衛生費 生活環境

**Q** ゼロカーボン推進について、再生可能エネルギーや省エネについて具体的な推進の方法を示していく必要があるのでは。また予算の委託内容は。

**A** これまでは基礎調査を進めてきた。今後省エネ、省資源で3分の1程度圧縮し、残りを再生可能エネルギー等に転換していく形を想定。市民・企業全員で取り組まないと実現できない。次年度の「CO<sub>2</sub>の見える化」を抱き合わせた形で、目標を示せるような取り組みをしていきたい。予算は専門的な技術支援のコンサルティング委託料で、提案型の入札により進める。

### 民生費 高齢福祉

**Q** 敬老会の在り方について、敬老意識の醸成とあるが、開催することが目的となっていないか。

**A** 令和5年度は水害やコロナを経て4年ぶりに開催することが目的となっていた。次年度へ向けては、地区ごとの考えを伺いながら、皆さんで長寿を祝うために敬老意識の醸成に取り組んでいきたい。

### 消防費 防災対策

**Q** 消防団運営交付金について、いくら増額となったのか。

**A** 一人当たり7,500円増額の1万4千回支出状況を確認させていただく。

### 土木費 建設

**Q** 市営住宅解体後の土地利用の計画は。

**A** 立石市営住宅については、15戸建替えという計画。今後の施策については住人の住替え等を含め令和6年度に方向性を示していきたい。

### 農林水産業費 農政

**Q** 既存の若手農業団の育成と新規就農者を呼び込むビジョンは。

**A** 若手農業団には、自分たちの自由な発想で新たな農業を模索していただくための支援や認定農業者制度による支援を行う。新規就農者のための予算は大きく計上していないが、連携を図りながら本市の農業を守っていきたい。

### 教育費 幼保学校

**Q** 今後地域移行される部活動指導員の人数と募集の考え方は。

**A** 令和5年度は5名だったが、地域移行を踏まえ、25名分の予算を計上している。

### 教育費 教育総務

**Q** 白岩小学校の駐車場舗装工事の時期と安全管理は。

**A** 夏休みの期間に施工。一方通行などのルールを確認し、保護者等に周知していきたい。

### 教育費 幼保学校

**Q** スクールカウンセラー委託料に計上されている425万1千円について、配置人数と活動日数は。

**A** 1名に週2回活動してもらおう。臨床心理士資格を持つ方を採用する。予算は県の雇用額を参考に旅費を含めて積算している。

### 消防費 防災対策

**Q** 防災気象情報提供業務委託について、どんなメリットがあるか。

**A** 市独自の7台分について、リアルタイムに気象情報を確認でき、迅速な対応や情報提供ができる。

## 人口の減らない市をめざす本市の 令和6年度の重点事業は

菅野健治委員（創成会）

人口の減らない市を目指す本宮市だが、現在3万人を切っており大変な課題を背負っている。令和5年の自然動態は生まれてくる子どもに対し、亡くなる方の人数が202人超過し今後も同様の傾向が予想される。一方、社会動態については、転出に対し転入が109人超過し、地の利を生かした転入効果により人口減少に歯止めがかかっている状況である。出産・育児・教育・雇用・福祉とバランスよく予算編成したと思うが、今回重点を置いた事業は何か伺う。なお、白沢地区の人口減少は喫緊の課題である。施策について考えはあるか。

高松義行市長

国立社会保障・人口問題研究所等の状況を見ると、今後人口が増える要素はないとのこと。本市の人口は、3万人を切ったものの、震災や台風で1,300人が転出しており、それを考えれば人口維持ができていた状況と考えている。今、一番心配しているのは、出生数が減ってきていること。特別な予算を組んだわけではなく、バランスの良い市民サービスを充実させ、本宮市がいかに住みやすいかを見ていたかというところ。ある程度の時間をかけ、住みやすい・住んでみたい・住み続けたいと思っていたら、よい市を作っていくことが目指す施策だと思う。白沢地区については、団地造成の過渡期であり、人口が落ち込んでいる。地に足をつけた人口減対策として、関係・交流人口を増やし、地区の良さ・利便性を知ってもらうことが大切。

## 子ども家庭センターの実施体制は

斎藤雅彦委員（新風会）

## 施設長寿命化の中で、岩根小学校 グラウンドの拡張の計画は

伊藤隆一委員（無所属）

令和6年度予算編成にあたっては、第2次総合計画後期基本計画に沿って新規拡大事業を中心に進めていることとしている。ICTシステム導入、子ども家庭センター、出産ママ交通費の助成、小中学校給食費の半額支援など様々な事業を展開し、市民サービスの向上につながる積極的な取り組みの予算計上と受け止めている。人口減少対策は我々も一緒に考えていかなければならない問題とされている。施設の長寿命化について、岩根小学校グラウンドは狭く、体育授業に支障をきたしている。その拡張についてはプールの移動を伴う状況になるため、今後の計画と市長の考えを伺う。また、本予算の中で、市長が目玉として取り組みたい事業はなにか。

高松義行市長

人口の減らない市、これはオール本宮でやっていかなければならない。岩根小学校のグラウンドとプールについて土地の取得は5年ほど前にさせていただいている。現在、この件について教育委員会ではいつから開始するというのがないかと考えている。また、岩根地区の子どもの人口形態がこれからどうなっていくのかも基礎資料として集めていかなければならない。まずはプールの移動について議論するよう教育委員会に要望し、この予算をどう確保していくか前向きに検討していきたい。これが目玉という事業はないが市民サービスの向上を求め、バランスよく様々な施策を行ってきた。派手さはないが、地に足をつけて強い本宮を作り上げていきたい。

## ふるさと暮らし体験住宅を活用した移住定住施策は

石橋今朝夫委員（誠和会）

※内容を要約して掲載しております。

「こども家庭センターの目的は、妊産婦や子ども、保護者の意見、希望をくみ取りつつ関係機関の調整を行い地域のリソースや必要なサービスと有機的につないでいくソーシャルワークの中心的な役割を担うとされ、業務内容は保健師が中心となる各種相談やこども家庭支援員が中心となる相談を一体的に行うとなっているが、業務の実践をどのよつに考えるか。また、センター長や統括支援員は十分な知識や経験、資格を持った者が望ましいとされているがその実施体制は。最後に、統括支援員に今後必要とされる研修体制は。」

## 高松義行市長

本市においては、新年度から子育て応援センターあゆみと子ども家庭総合支援拠点まゆみの2組織を一つにして「こども家庭センターあゆみ」という名前ですタートさせていたたく。国の法改正により新しい省庁ができ、これを受け本市でも子どもファーストの施策を表に出していくことはある程度必要になると考えている。今回配置したセンター長と統括支援員は豊かな経験を持ち市民からも信望の厚い職員と評価している。令和6年度積極的に研修を受けてもらいながら職務についてほしいと考えている。また、センターと教育委員会がしっかりと連携することで、妊娠期から出産、子育ての流れの中で手厚く市民の側に立ったサービスが充実していくと思つている。市民の皆様から信頼されるセンターを目指して努力を重ねていきたい。

## 本宮一C前の道路整備の実施設計を見直す考えは

### 渡辺秀雄委員（創成会）

本宮一C前の道路整備について、議会に説明したのは9月、地域の住民説明会は11月だった。すでに実施設計ができておるとのことだが、議会が考え・意見を述べるタイミングがなかった。将来的に重要な位置であり、地域の人たちが不便を感じる状態になつては一番困る。実施設計をもつ一度見直す・検討するなどの考えはあるか。

第2次総合計画後期基本計画がスタートし、市民とともに活力のある地域づくりを進め、「共に作る人と地域が輝くまちもとみや」をスローガンに、いよいよ本宮の魅力発信を行う。その中で、魅力あふれる事業として、ふるさと暮らし体験住宅がスタートする。ターゲットとしての首都圏などでは、多様性・利便性・リモートワークなど様々な方向性が考えられる。体験住宅を利用し、多くの方々に白沢地域等への移住・定住が図れる方策が必要となるが、市長の考えを伺つ。

## 高松義行市長

体験住宅は、何人かの方々からモニターのな利用の情報をいただきながら大型連休前のオープンを目指して進めている。この施設は即効性のあるものではない。あくまでも交流関係人口を上手に回し、白沢地区の良さを知ってもらうための一つのツールとして施設を育てていきたい。様々なアトラクションを用意し、地域の人と触れ合いをしながら良さを感じていただければと考えている。また、もう一つのツールとして、しらすわファンクラブ（SNS）を作らせていただく。情報を前もって取得できることは効果的と思つている。これらの事業を一つ一つ大切に育てて人口の減らない市を支えるための大切なアイテムとしていきたい。

## 高松義行市長

トータルで4・5年かかる事業になり、市の財政が今後どのようになるか見える状況ではない。企業が来る来ないの中で、どう実施設計を扱うかということについても、ある程度柔軟性をもってやらなければならぬ。とりあえず着工が見込めるビジネスホテルの周辺については進めさせていたきたい。もう一つの商業施設については、じっくりやつていく必要があると考えている。今回、指摘いただいたことを深く反省し、議員の皆様と情報を共有しながら、協議の案件としてキャッチボールをさせていたたく必要があると思つている。

令和5年度一般会計補正予算(第10号) **歳入** 合計 約2,213万円の増 **可決**

**一般会計総額 179億2,924.5万円**

姉妹庭園のあるケンジントン&チェルシー王室特別区との友好協定締結に係る経費や、白沢ふれあい文化ホールの改修にかかる工事請負費、燃料高騰等による運送事業者等を支援するための経費が計上されました。また、歳入では決算見込みによる市税、地方交付税、市債などの増減が計上されました。

## 質疑

**A** 当初貸出をする予定はない。阿武隈川堤防等の公的な場所に使用してみて、その効果を検証していきたい。昨年までは夏祭り花火打ち上げ場所の草刈を国交省で負担していたが、6年度からは市が行うこととなり、その予算を縮小させる意味でも、まずは実証実験をさせていただきたい。

**Q** ラジコン草刈り機の購入について、市民から草刈りの要望があった場合の対応はどのようにするのか。

**A** 市から勧奨通知を直接郵送で送付していたが、申請がなかった分を減額補正する。市としては100%使ってもらいたいと思っている。今後やり方等については、議論する余地があると思う。

**Q** 生産資材等高騰対策支援金について、昨年6月議会の補正予算で計上されたものの精算だが、934万円もの減額に至った理由について伺う。

補正予算 主な内容		補正額
歳出	財政調整基金積立金	8,416万
	ふれあい文化ホール展示施設化改修工事	6,025万
	燃料高騰対策運送事業者応援金	2,959万
	直営診療施設勘定繰出金	1,499万
	市営住宅等管理基金積立金	942万
	英国関係者招待支援業務委託料 締結記念関連事業業務委託料	796万
	小学生医療費助成費	400万
	戸籍情報システム改修委託料	221万
	乳幼児医療費助成費	200万
	高校生相当医療費助成費	180万
ひとり親家庭医療費助成費	70万	
歳入	普通交付税	8,226万
	自動車重量譲与税	2,951万
	震災復興特別交付税	2,614万
	長期避難者生活拠点形成交付金	802万
	環境性能交付金	270万
	ふれあい文化ホール改修事業債	5,830万

総務文教常任委員会には、本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定のほか、議案2件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

## 総務文教

本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

**説明** 昨年10月に行われた福島県人事委員会勧告に基づき、職員の通勤手当の上限額を引き上げること、並びに令和6年4月1日に施行される地方自治法第203条の2第4項に基づき、会計年度任用職員に通勤手当を支給するため、支給の対象外としていた部分を削除するもの。

**問** 通勤距離に応じた段階的な通勤手当についても増額となるのか。

**答** 上限額の引き上げに伴い、通勤距離に応じて通勤手当が増額となる。

本宮市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例制定について

**説明** 令和6年度より会計年度任用職員へ通勤手当を支給するため、関連する条例の改正を行うもの。

**問** 通勤手当の支給対象となる条件は。また、期末手当・通勤手当の支給総額は。

**答** 週15時間30分以上勤務している方が対象となる。また、支給月数は、期末手当の2・45月分と、通勤手当2月分と合わせて年間4・45月分となる。

### 現地調査



▲総合体育館内適応指導教室及びあぶくま憩の家の現地調査を実施

## 生活福祉

生活福祉常任委員会には、本宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定が付託されました。

本宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

**説明** 令和6年度から令和8年度までの3年間を実施期間とする第9期介護保険事業計画に基づき、65歳以上の介護保険料の基準月額を現在より100円低い5・800円とするため、さらに所得段階を9段階から13段階とするため条例の一部を改正する。

**問** 介護保険料減額による介護人材の報酬への影響は。

**答** 国の介護報酬改定により、全体で1・5%程度上昇している。次期計画は、報酬改定を踏まえて推計し基準月額を設定した。

**問** 介護認定申請のタイミングがわからないとの意見がある。広報は。

**答** 医療機関でも介護認定が必要な場合は申請を促している。必要に応じて、介護認定なども含め、包括支援センターへ相談いただく旨の周知を行っている。

**問** 市の認識としては、将来的に介護保険料は上昇するということでしょうか。

**答** お見込みの通り。今後も基金の有効活用を図ることで、保険料の急激な上昇を抑えていく。

### 現地調査



▲コミュニティバス市内東西線の現地調査を実施

## 産業建設

産業建設常任委員会には、陳情1件及び本宮市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について、のほか2件の議案が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

### 陳情審査

陳情第2号 「食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める陳情」について、審査を行い、採択と決定しました。

### 市道路線の認定について

**説明** 弁天・立石線を新たに市道として認定する。

**問** 本路線整備の経緯は。

**答** 本路線は、国土交通省が令和2年度から実施している阿武隈川左岸弁天地区側帯事業に伴い、堤防かさあげのための盛土により、市道の一部が通行できなくなったことから、道路の付替えを行ったもの。

**問** 現時点で市道認定する理由は。

**答** 国の事業はまだ完了していないが、本路線については供用開始とするため、事故等が発生した際に管理の所在が不明とならないよう、市道路線を認定するもの。

### 現地調査



▲日影沢頭首工及び立石山浄水場の現地調査を実施

討論

議案第17号 令和6年度本宮市一般会計予算

反対

渡辺忠夫 議員

新年度の一般会計予算は前年当初予算に比べ15億2,230万円多い予算である。住民の要望が一定反映されたものも盛り込まれているが、いくつかの点について意見を述べる。1つ目は子育て支援について、本市の少子高齢化が進み出生数が過去最低を更新した。出産交通費助成やこども家庭センターの設置など予算化されたが、人口の減らない市をめざすならさらに力を入れるべき。第一子からの保育料の無料化、幼稚園の給食費の無料化など、保護者負担を軽減し、同時に保育士などの正職員化により待遇改善を図ることである。2つ目は学校給食費の支援である。令和5年度は半額支援を実施してきたが、次年度予算も半額であった。市民は大きな期待を持って注視していたと思う。国がやるべきものだとしても、自治体の取り組みが多ければ多いほど国が動くのだと思う。3つ目は国際交流について、特別の人だけを選別し派遣することは義務教育の中で適切ではないと思う。国際交流という場合1つの国だけというのは疑問である。最後に農業支援について、本市は高齢化が進み、担い手不足が深刻となっている。経営が成り立つ支援を行うべきである。

賛成

根本利信 議員

令和6年度は、第2次総合計画後期基本計画がスタートし、市民全員が主役となって一人ひとりが生き生きと輝き、ともに支えあう活力のある地域づくりを目指し、ともに創る人と地域が輝くまち本宮をスローガンに各種施策が展開される。子育て支援については、こども家庭センターあゆみがスタートし児童手当、出産ママ交通費支援等の拡充をはかり、子どもや若者、子育て当事者のライフステージに応じ切れ目のない支援が行われる。学校給食費については、本来国が責任のもと、全国一律で無償化を実現すべきと考え、本市は食育の充実と保護者の軽減負担を図るため、給食費の半額支援ならびに物価高騰分の負担を継続するとしている。国際交流については、中学生を英国との交流により各種活動を通じてグローバル人材を育成し、未来につなげ、また、人づくり、地域づくりの観点から引き続き重要と考える。新年度においても、人口減少対策を優先課題として移住定住施策を展開しながら、子育て、教育、高齢者支援など市民に寄り添ったサービスをバランスよく提供し、効果的な情報発信に取り組み、人の減らない市を目指していくことから本案に賛成するものである。

3月定例会賛否一覧

下記以外の議案等は全会一致で可決されています。

会派名	誠 和 会							新 風 会				創 成 会				公 共	無所属			
議員名	石橋今朝夫	菊田 広嗣	磯松 俊彦	玉川 実	渡辺 富幸	後藤 友誉	橋本 善壽	三瓶 裕司	斎藤 雅彦	根本 利信	田中美代子	国分 秀好	渡辺 秀雄	菅野 健治	三瓶 幹夫	馬場 亨守	川名 順子	渡辺 忠夫	伊藤 隆一	作田 博
議案第10号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第17号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（橋本善壽）は採決には加わらない  
 会派名の略称は以下のとおり 公…本宮市議会公明党 共…日本共産党

## 令和6年1月臨時会 議決結果一覧表

市長提出議案1件 報告1件

番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和5年度本宮市一般会計補正予算（第9号）	省略	原案可決
報告第1号	専決処分の報告について（専決第13号 和解及び損害賠償額の決定について）	—	—

## 令和6年3月定例会 議決結果一覧表

市長提出議案25件 諮問1件

番号	議案名	付託委員会	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	省略	同意
議案第2号	教育委員会委員の任命について	省略	同意
議案第3号	本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決
議案第4号	本宮市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決
議案第5号	本宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	生活福祉	原案可決
議案第6号	本宮市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	原案可決
議案第7号	財産の取得について	省略(先議)	原案可決
議案第8号	市道路線の認定について	産業建設	原案可決
議案第9号	本宮市地域交流センター指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第10号	令和5年度本宮市一般会計補正予算（第10号）	省略(先議)	原案可決
議案第11号	令和5年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	省略(先議)	原案可決
議案第12号	令和5年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	省略(先議)	原案可決
議案第13号	令和5年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第5号）	省略(先議)	原案可決
議案第14号	令和5年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算（第2号）	省略(先議)	原案可決
議案第15号	令和5年度本宮市水道事業会計補正予算（第5号）	省略(先議)	原案可決
議案第16号	令和5年度本宮市公共下水道事業会計補正予算（第4号）	省略(先議)	原案可決
議案第17号	令和6年度本宮市一般会計予算	予算審査特別	原案可決
議案第18号	令和6年度本宮市国民健康保険特別会計予算	予算審査特別	原案可決
議案第19号	令和6年度本宮市後期高齢者医療特別会計予算	予算審査特別	原案可決
議案第20号	令和6年度本宮市介護保険特別会計予算	予算審査特別	原案可決
議案第21号	令和6年度本宮市工業用地造成事業特別会計予算	予算審査特別	原案可決
議案第22号	令和6年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計予算	予算審査特別	原案可決
議案第23号	令和6年度本宮市水道事業会計予算	予算審査特別	原案可決
議案第24号	令和6年度本宮市公共下水道事業会計予算	予算審査特別	原案可決
議案第25号	教育長の任命について	省略	同意
議案第26号	令和6年度本宮市一般会計補正予算（第1号）	省略	原案可決

## 議員提出案件3件

番 号	議 案 名	議決結果
発議第1号	食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書	原案可決
—	閉会中継続調査（議会運営委員会）	決 定
—	閉会中継続調査（全常任委員会）	決 定

## 陳情2件

番 号	議 案 名	付託委員会	議決結果
陳情第1号	福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	—	取り下げ
陳情第2号	食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める陳情について	産業建設	採 択

## 行政視察報告

### 議会運営委員会



令和6年1月9日(火)～1月10日(水)

**岩手県奥州市**

議員間討議のガイドライン

**岩手県陸前高田市**

災害時における議会運営

奥州市議会では、「議員間討議のガイドライン」を策定している。議員間討議は合意形成のプロセスとして位置付けられており、この討議手法を明確化したものが、このガイドラインである。手法としては、①対話による相互理解と課題の洗い出し、②議論による論点整理と方策検討、③討論による最終的な議決である。

本市議会でも、様々な課題とその解決策について議論を深めるため、議員間討議を行っていききたい。

また、陸前高田市議会では、震災時の経験を踏まえ、議会災害対策行動マニュアル等を策定している。「災害時における議会運営」については、まず各議員が有する情報を全議員で共有し、災害時の議員活動については、一度、全議員が集まり統一性を持って行動するとのことであった。

各議員が日頃から心構えをすることで、有事の際の行動につなげていきたい。



## 広報広聴委員会

令和6年1月22日(月)～1月23日(火)

栃木県足利市 栃木県那須町

広報広聴活動について

・議会広報紙の編集 ・議会 SNS ・意見交換会

足利市議会では、市民の政治参加を促すため、まずは議会に興味を持ってもらうことを第一に考えた取り組みを行っていた。中高生との定期的で継続的な関わりやオンライン意見交換会の実施など、市民目線に立った取り組みを議員自らが出向いて活動していることは見習うべきであると感じた。

SNSの取り組みについては、若年層への広報広聴活動として議会事務局と密に連携をとったものであった。特に、更新の頻度も重要になることから継続性を重視した仕組みとなっていた。当市においても重要なツールとして、導入に向けた研究を進めていきたい。



## オンライン視察研修

広報広聴委員会は、令和6年2月15日、栃木県那須町議会とのオンライン視察研修を行いました。本宮市議会では初となる試みで、視察が中止となった那須町議会の担当議員の皆様のご厚意により実現しました。



研修は、事前に伝えた質問事項について説明を受けた後、質疑応答の時間が設けられました。

画面越しでの会話となるため、お互いの感情が伝わりづらいものの、十分に情報のやりとりを行うことができました。

今後、本市議会の広報広聴活動においても意見交換の場を設ける有効な手段として活用してまいります。

(内容報告)

那須町議会の広報広聴活動では、目的を明確にすることで、効果的なタイミングや手段を用い活動することが可能となっていた。例として、意見交換会では、効果的な政策提言等を行えるように、市政の年間スケジュールを逆算した日程となっていた。また、対象者を様々に設定したり、実施の回数を増やすことで広く市民の声を聴くことが可能となっており、本市でも参考にしていきたい内容であった。



▲那須町議会の皆様。オンライン上の画面。

# 市 政 を 問 う

## 一 般 質 問



### 一般質問とは

議員が、市政全般のことについて、市に対して考えを聞くのが一般質問です。皆さんの生活にかかわる内容がきっとあります。

質問議員	質問事項	ページ
磯松 俊彦 (誠和会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市にスマート農業計画の予定は</li> <li>ため池安全管理の将来的な認識は</li> </ul>	13
国分 秀好 (新風会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団は地域防災のリーダー</li> <li>儲かる農業を目指して</li> </ul>	13
後藤 友誉 (誠和会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>布団からお昼寝コット移行は</li> <li>道路損傷通報システム導入は</li> </ul>	14
馬場 亨守 (創成会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道等の整備について</li> <li>公園について</li> </ul>	14
根本 利信 (新風会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口問題、地域づくりの政策は</li> <li>地域おこし協力隊の活用は</li> </ul>	15
渡辺 富幸 (誠和会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園給食の今後の方向性は</li> <li>県道・市道の法面除草について</li> </ul>	15
田中美代子 (新風会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>県道飯野・三春・石川線について</li> <li>切土法面、雑木等の伐採について</li> </ul>	16
玉川 実 (誠和会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市における人口減少対策の取組</li> <li>新公共交通について</li> </ul>	16
菊田 広嗣 (誠和会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤングケアラー意識調査の予定は</li> <li>ヤングケアラーの実数の把握は</li> </ul>	17
石橋今朝夫 (誠和会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを虐待から守る取り組みは</li> <li>地域計画の策定状況は</li> </ul>	17
渡辺 秀雄 (創成会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新公共交通システムの再検討は</li> <li>IC 周辺の先行道路整備は慎重に</li> </ul>	18
川名 順子 (本宮市議会公明党)	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害の備えは</li> <li>パートナーシップ制度の導入を</li> </ul>	18
渡辺 忠夫 (日本共産党)	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要人数はすべて正職員化を</li> <li>ゆとりある3クラスになぜできない</li> </ul>	19



QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。

**問** 消防団員確保については極めて厳しい状況にあると思うが本市の条例では定員488名となっているこの人数の根拠は。団員確保の施策はあるか。また女性団員制度及び資格取得支援制度はあるか。消防団の予算は適正に実行されているか。



**問** 消防団は地域防災のリーダー  
**答** 団員確保の施策を実施している

**答** 市内企業へ訪問し、従業員への入団促進を依頼するとともに入札の優遇制度も設けている。今後女性消防団員も活躍出来る制度も考えている。資格取得支援についても継続して実施していく。予算についても令和6年度は増額の予定。

**問** 本市の基幹産業でもある農業が担い手不足、後継者不足で今後の維持管理が非常に厳しい状況にある。若手が農業に興味が無いのは儲からないからだ。新しい農業スタイルとして大規模園芸施設を設け儲かる農業へチャレンジしては。

**問** 儲かる農業を目指して  
**答** 大型施設園芸も技術的に進歩

**答** 耕作放棄地を市としては増えないように「地域計画」を進める中で農地の活用方針や農地の維持管理に努める。大型施設園芸については、技術的にも進歩しており、農業者や農業法人からの相談に柔軟に対応する。

国分 秀好  
(新風会)



▲ため池管理の支援を

**問** ①市内農地所有者と耕作者の人口は。②スマート農業について、当局において先進地視察、講習受講の予定は。③近年の農業技術進展の状況について、農地所有者向けに講習を行う考えは。④スマート農業導入へ向けた課題は。

**答** ①農地所有者は2,906名、耕作者は1,326名。②予定はないが、先進事例の調査研究を進めたい。③スマート農業情報提供に努めたい。④作業効率化やコスト削減を目指すものであるが、機械の導入など多額の経費が想定される。



**問** 本市にスマート農業計画の予定は  
**答** 現段階では策定の予定はない

磯松 俊彦  
(誠和会)



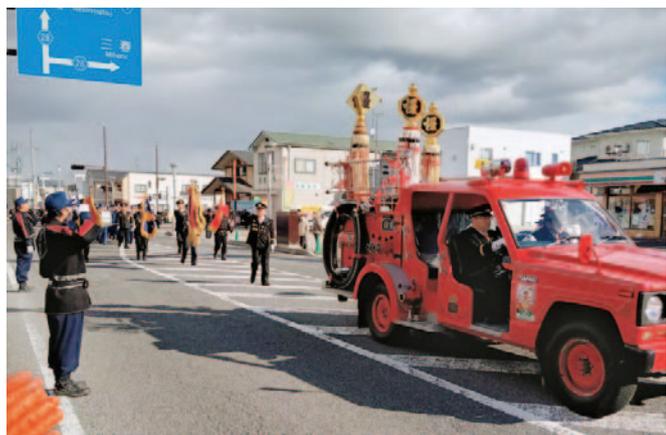
**問** 高木地区ため池の管理を担っている農業関係者が防災上果たしてこられた役割は。  
**問** ため池の安全管理について将来的な認識は。赤木樋管の将来的な内水対策は。高木地区を水害から守る会の活動の意義と、今後当局の方向性は。

**答** 防災上一翼を担って頂いている。高木用水土地改良区へ支援。将来どのようなことになるといふことが想定できない。赤木樋管は排水ポンプ車に対応。長きに渡る活動に感謝を申し上げます。内水排除行い浸水から守っていききたい。

**問** ため池安全管理の将来的な認識は  
**答** その時の状況を見ながら進めたい

その他の質問

- ・短時間ワークシェアリングシステムの導入は



▲消防出初式



▲市道万世・鍋田線

**問** ①修繕を必要として  
いる距離と修繕費用は。  
②蛇ノ鼻入口向かいにあ  
る赤道(矢ヶ地内)は。  
③平井・小幡線は。④平  
井1号線は。⑤万世・鍋  
田線は。市民の声に比べ  
て、修繕費用について大  
幅な増額を。

**答** ①現在昨年3月より  
約3km減少して31km、費  
用は、10億3千万円で昨  
年より1億円減少。②適  
正な維持管理を行う。③  
令和4年度に側溝整備の  
ため測量設計しており整  
備する。④⑤部分補修で  
対応する。

**問** ①兼谷公園にトイレ  
を新設しては。面積が  
3,350㎡あり、立木  
伐採は切り株を取り除い  
ては。②蛇ノ鼻公園内ト  
イレが50年前の古い建物  
であり観光資源の一つで  
もあることから、補助金  
を出して新築してみ  
ては。

**答** ①利用者数、イベ  
ント開催の予定がないので  
トイレ整備の予定はな  
い。②所有者は伊東商事  
で、平成28年にトイレの  
改修を行っており、当時  
市の観光物産協会から補  
助を出している。

**その他の質問**

- 地震被災家屋への対応について



**問** 市道等の整備について

**答** 計画的に修繕を行っている

**馬場 亨守**  
(創成会)



**問** 保育所の受入れ体制  
の一つとして、お昼寝  
コットの導入を、お昼寝  
布団の代わりに導入して  
はどうか。メリットとし  
て衛生面の良さや保護者  
負担が大分軽減される。  
保護者にアンケートをと  
るなどすれば、導入は考  
えられるか。

**答** 現在までコットの導  
入について検討をしてき  
たことがない。先進自治  
体、導入している自治体  
の事例について情報収集  
を進めていく。コットの  
保管場所の確保に疑問が  
あるが、一時保育等であ  
れば検討の余地もある。

**問** 行政のマンパワーに  
は限りがある。市民から  
の情報提供は安心安全な  
生活の為に繋がってい  
る。労働時間の削減、災  
害時での細やかな情報収  
集につながる迅速な対応  
にむけスマホからできる  
道路損傷通報システム導  
入の考えは。

**答** スマートフォン、S  
NSを利用した状況写真  
による通報により損傷個  
所の特定、現地の状況等  
を詳細に確認できる。導  
入している自治体を調査  
していく考えであり、道  
路等のみに限定せず、  
様々な情報をいただくこ  
とが非常に有効と認識。



**問** 布団からお昼寝コット移行は

**答** 一時保育等であれば検討の余地

**問** 道路損傷通報システム導入は

**答** 有効と捉え導入自治体事例を調査

**後藤 友誉**  
(誠和会)



▲お昼寝コット導入している  
上尾市公立保育所での午睡時様子





▲本宮市みずきが丘南公園バス停付近

**問** 令和6年度の重点プロジェクトにおいて人口減少に対して3万人以上の維持をするための施策が行われている。本市の人口減に対する合計特殊出生率の取組み、現状分析及び将来計画に向かつての方策は。

**答** 本市の出生数の関係は年間200人を割っている。合計特殊出生率は1.33で全国平均1.20を上回っているが、1つの事業でなし得るのではなく、市民の皆様が必要な支援を組み合わせて展開する。

**問** 3月で運行半年を迎えることとなるが、半年の運行で各路線の乗降率や朝夕の形態把握及びそれらに係わる経費等状況把握が可能となり、継続的な運行を図るための方策を検討していることは。

**答** 継続的な運行のためには、まずは新サービースと納税を活用して、地域全体が何らかの公共交通が利用できる全体的な見直しでスタートした。多くの皆様に利用して頂くことで持続可能な生活インフラを存続させる。



**問** 本市における人口減少対策の取組

**答** 必要な支援を組み合わせて展開する

玉川 実 (誠和会)



**問** 新公共交通について

**答** 多くの市民の利用を目指す

**問** 市内稲沢字丸森地内、平田石地内において未改良区間があり、カーブにより見通しも悪く危険である。沿線住民より、いつ工事が着手するのかと声も聞かれています。主要地方道として重要な路線であるため、早期改良が必要。

**答** 令和元年度から稲沢字根柄から赤坂地内の根柄工区につき広域的な組織、県道飯野・三春・石川線整備促進期成同盟会が要望活動を行っているが着手に至っていない状況。引き続き根柄工区の道路改良を要望している。

**問** 道路改良工事における切土法面に各種雑木、特に藤のつる等が生い茂り伐採するにも容易ではない状況。道路環境美化の観点からも伐採が必要と考える。整備と対応は。

**答** 市内に雑木が生い茂っている箇所多く維持管理が難しい状況。令和5年度、本宮地区16カ所、白沢地区33カ所伐採作業を行った。要望があった場合は危険箇所優先に可能な限り年度内に伐採作業している。

その他の質問

・外側線の劣化整備について



▲見通しの悪い根柄工区・丸森地内



**問** 県道飯野・三春・石川線について

**答** 県や建設事務所等に要望している

田中美代子 (新風会)



**問** 切土法面、雑木等の伐採について

**答** 通行に支障ある箇所優先に対応

**問** 子どもに対する虐待が後を絶たない中、暴行などの身体的虐待や育児放棄も依然としてなくなり、地域のつながりや家庭の在り方が変化している事を求められるが、本市の取り組みは。

**答** 現在18件寄せられている、児童相談所と連携し定期的な面談指導を実施している。子どもの命を育む講座も実施し、4月から設置されている子ども家庭センターにおいて、適切な支援につなぐ、継続して虐待防止を図っていく。

**問** 地域計画は10年後の耕作者を明らかにするところが最大の特徴で、耕作者を特定し、地図上に明記することが求められる。所有者の意向確認、調整は容易ではなく地域計画は地域農業の将来を考慮の息の長い取り組みであるが市の捉え方は。

**答** 地域計画は、来年の3月まで策定しなければならぬ。地域との話し合いを進めたい。立てた計画は時が立てば、農地や地域の状況は変化するのでその状況に応じ地域との話し合いを進め、計画の見直しについては随時対応していく。

**その他の質問**

- ・不登校児童生徒への対応は
- ・子どもの肥満防止策は

情報提供や相談を!!  
**まずは連絡 いちはやく 189**  
\*児童相談所 虐待対応ダイヤル\*  
匿名可能 通話無料 秘密厳守

子どもを虐待から守るのに、理由はいらぬ。

▲子どもを虐待から守るのに、理由はいらぬ



**問** 子どもを虐待から守る取り組みは

**答** 早期発見・支援に努めていきたい

石橋今朝夫 (誠和会)



▲子どもが子どもらしく、未来に希望をもって成長できる環境を!



**問** ヤングケアラー意識調査の予定は

**答** 現時点では予定していない

菊田 広嗣 (誠和会)



**問** ある市が医療、介護福祉、教職員等を対象にケアラーに関するアンケートを実施した。結果は教職員の3割以上がヤングケアラーというものを認識していなかった。本市ではケアラーに関する意識調査や認知度調査をやる予定があるか。

**答** まずはヤングケアラーの理解を深める取組を進めていきたい。教職員については、市主催の研修会のほか、県教育委員会等の研修会にも参加いただき、情報共有を図っている。

**問** 現在のヤングケアラーの人数は11人で、スクールソーシャルワーカーの相談の中から見つかったと聞いたが、それだけ調べていく調査では限界がある。児童・生徒の現状、意識を把握するためアンケートを実施すべきだと思いが。

**答** 現在2校において学校独自でアンケートを、また1校でチェックシートを使い把握に努めている。学校では年に数回行っている。そこにヤングケアラーの内容を追加したアンケート調査も今後考えていきたい。

**問** ヤングケアラーの実数の把握は

**答** 調査の必要性は十分感じている

**その他の質問**

- ・ヤングケアラーチェックシートの使用実績は
- ・児童自身がこのような社会問題を学ぶ機会は



©KOMEITO

▲多様性の尊重を！

**問** ①孤立地域が発生した場合②塩分濃度の低い食料やアルファーム以外の備蓄品は③新事業の防災避難訓練とは④防災計画で女性登用は⑤防災時、円滑に他の地方公共団体や防災関係機関から受ける事ができる受援計画の策定は。

**答** ①南達建設業組合と連携して対応②高齢者や幼児に配慮した備蓄品を用意③白沢全地区を対象に住民参加型の避難訓練を予定④消防防災係長に女性職員を起用。避難所に女性を最低1名配置⑤先進事例の取り組みを見て策定に向け取り組む。

**問** パートナリシップ制度は、自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係として公的に認め、社会的理解や各種サービスを受けやすくする制度である。400の自治体が導入済で市のメリットとしてアピールできる重要な項目である。

**答** LGBTQについて市民の理解をいただく行動を起こしていかなければならない。多様性というものを理解できる人間性を育てる努力を令和6年度しっかりやっていく。県が検討を始めたのを受け、他の自治体も合わせいくべきと考える。



### 問 災害の備えは

**答** 対応できるように訓練を積んでいく

川名 順子  
(本宮市議会)  
公明党



**問** パートナリシップ制度の導入を  
**答** 市民全体の浸透が必要

**問** 路線バスのフリー乗降ができなく、不便になったとの声が聞かれる。理由がよく利用者に理解されていないのか。また、福島交通の路線バス、郡山の商業施設再開まで、一時運行を休止すべきではないか。

**答** バス停までの移動が大変だという声が寄せられている。協議会で検討し、必要可能なものについては改善を図っていく。フェスタ郡山店の休業はマイナス要因であるが、市内の移動の利用者が増えており、運行変更、停止の考えはない。

**問** 進出する企業等により交通量などが変わっていく。十分な協議、検討なく整備して、のちに追加整備等が生じないか心配であり、進出企業等が確定してからでも良いのではないかと。多くの市民の理解が得られよう進めるべきでは。

**答** オーダーメイド型で進めることを基本に、一応計画を立て地域の理解を得た。今後については、臨機応変な対応が必要になってくると思われる。今後3〜4年でとは、行かないが必要に応じて、用地を取得し整備を進めて行きたい。



### 問 新公共交通システムの再検討は

**答** 必要可能なものについては改善を

渡辺 秀雄  
(創成会)



### その他の質問

- ・五百川駅前周辺の宅地開発について
- ・ホテル等の市税減免について



▲バス停までが遠く大変になったとの声が多い

## 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

### 國分 進氏

人権擁護委員法に基づき、法務大臣に推薦することに全会一致で同意しました。

#### 【主な経歴】

平成30年 人権擁護委員に法務大臣より委嘱  
令和2年 桜の聖母短期大学 講師  
令和4年 しらさわ学校運営協議会長



▲本宮小学校

## 議案第2号 教育委員会委員の任命について

### 遠藤 傳一郎氏

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について、全会一致で同意しました。

#### 【主な職歴】

平成28年 本宮市教育委員会委員  
令和元年 ふくしま未来農業協同組合理事  
令和5年 仁井田営農組合代表理事

## 議案第25号 教育長の任命について

### 大内 順一氏

任期満了に伴う教育長の任命について、全会一致で同意しました。

#### 【主な経歴】

平成30年 郡山市立喜久田小学校教頭  
令和2年 郡山市立桜小学校教頭  
令和3年 田村市立要田小学校長  
令和5年 郡山市立明健小学校長

**問** 会計年度職員（非正規職員）の待遇改善について、現在の職員の正職員数と会計年度職員数と保育所の職員数は何人か。また正職員の給与と会計年度職員の給与はいくらか。必要人員すべて正職員にすべきでは。

**答** 正職員が269名、会計年度255名、合計524名である。正職員のうち幼稚園に17名、保育所に35名、会計年度で幼稚園に22名、保育所に69名いる。正職員の給与月額28万2,200円、会計年度22万6,900円、正職員を募集しても集まらない。

**問** 本宮小学校の1年生は現在67名いる。現在の学級基準では3学級だが2学級にしかない。去年の約束はどうしたのか。先生が不足しているからと思うが、県は1年我慢するようお願いしているが、今からでも何とかならないのか。

**答** 本宮小学校の67名だが県では1・2年生は30人学級で編成を行う。そのため3学級となるが、教員不足ということで3学級に担任を配置することができず、2学級を3人で指導行っている。3年生になれば今度は県の基準で2学級となる。



**問**

**必要人数はすべて正職員化を  
答 正職員として募集しても集まらない**

渡辺 忠夫  
(日本共産党)



**問** ゆとりある3クラスになぜできない  
**答** 3年生から33人が県の規格になる

#### その他の質問

- 学校給食費の全額支援はいつからの計画か
- 森林を伐採した後植林を推進すべき

# 市民との意見交換会

発行 本宮市議会  
編集 広報広聴委員会

〒969-1192

福島県本宮市本宮字万世2-1-2



本宮市議会は、令和6年1月20日土曜日に令和5年度市民との意見交換会を開催しました。えぼか、青田農業構造改善センター、白沢公民館の各会場では市民の皆さまから沢山の参考になるご意見をいただきました。

## ● 意見の一部を紹介します ●

### ①人口問題について

- ・耕作放棄地等を利用し企業誘致はどうか。
- ・若者の意見を特に大事にするなどして、定住につなげることが人口減少対策に有効ではないか。
- ・市の魅力（住みやすさ等）を市全体で発信する取組みが人口減少に有効ではないか。
- ・子どもたちが進学で一旦地元を離れたとしても、戻りたいと思わせるまちづくりが必要。

### ②市民生活の利便性について

- ・昔のようにフリー乗降できるようにしてほしい（バス）
- ・公共交通の内容説明をしてほしい。
- ・子ども関係の申請を1つの施設で完結できるようにしてほしい。（えぼか・市役所）
- ・スマホを使った申請書類提出を対応しては。
- ・小学校統合の検討は進んでいるのか。人口減少により統合は時間の問題と思われる。



意見交換会でいただいた意見・要望については、令和6年2月26日に市長部局に提出いたしました。その他の意見はQRコードからご覧いただけます。

TEL (0243) 24-5435  
FAX (0243) 34-5567

発行責任者 議長 橋本 善壽  
広報広聴委員会 委員長 菊田 広嗣  
委員 長 根本 利信  
副委員長 後藤 友誉  
委員 渡辺 富幸  
委員 田中美代子  
委員 磯松 俊彦  
委員 馬場 亨守  
委員 菅野 健治

あ  
と  
が  
き

我々広報広聴委員会は議会の審議等の内容を市民の皆さんにわかりやすく届けたい。そのような思いで広報紙を作成しております。しかし、まだまだ発信する内容が議会からの一方通行のような気がします。今後、さらに市民の声を議会だよりを契機に行政にどのような要望があるかを伝えられるような紙面にしていきたいと考えています。委員会でも他市町村を研修しましたが、どの市町村も市民目線で興味を持つために努力されていきました。これからも市民の声を第一にわかりやすい広報作成に努めてまいります。  
(馬場)

次回6月議会定例会は6月4日に開会予定です。請願・陳情の締め切りは5月23日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。